



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 菱電商事株式会社

コード番号 8084 URL <http://www.rvoden.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 山下 聡

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 宇野 悟

TEL 03-5396-6111

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

平成26年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	111,859	6.1	2,401	7.5	2,580	3.0	1,671	6.6
26年3月期第2四半期	105,431	5.3	2,232	7.5	2,506	19.7	1,568	21.7

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,849百万円 (△27.8%) 26年3月期第2四半期 2,560百万円 (137.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	38.56	38.54
26年3月期第2四半期	36.14	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	117,980	58,726	49.8	1,354.22
26年3月期	117,936	57,582	48.8	1,328.51

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 58,707百万円 26年3月期 57,582百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
27年3月期	—	12.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,000	4.6	5,890	11.6	5,970	5.8	4,000	12.7	92.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	45,649,955 株	26年3月期	45,649,955 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	2,298,167 株	26年3月期	2,306,043 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	43,346,099 株	26年3月期2Q	43,390,955 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現段階において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国の堅調な成長などに支えられ緩やかな回復傾向にあるものの、新興国の成長鈍化や欧州の情勢不安の影響など景気回復に足踏み感が見られ先行き不透明な状況にあります。

一方、国内経済は、消費税増税の影響で一時的に低迷したものの、円安・株高などによる企業収益の改善や設備投資の回復により、緩やかな回復基調となりました。

当社グループの取引に関する業界は、デジタル家電業界の低迷は、依然として続いているものの、産業機器業界や自動車関連及びエネルギー関連では、概ね堅調な推移を見せています。

このような状況下、当社グループは、ワールドワイドに顧客に付加価値を提供する「グローバル・ソリューション・プロバイダー」への進化を図るべく中期経営計画「GSP・15 (Growth Strategy Plan 2015)」の中間年度として加速に向けた諸施策を進めております。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,118億59百万円(前年同期比6.1%増)、営業利益24億1百万円(前年同期比7.5%増)、経常利益25億80百万円(前年同期比3.0%増)、四半期純利益16億71百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来、「半導体・デバイス」としていた報告セグメントは、「エレクトロニクス」に名称を変更しております。セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

#### ①FA・環境システム

【当第2四半期連結売上高344億91百万円(前年同期比9.3%増)、営業利益8億48百万円(前年同期比18.7%増)】

FAシステムでは、当社主力市場の半導体・液晶関連製造装置や工作機械関連の生産が好調に推移し、また自動車関連の設備投資も堅調で、大幅な増収となりました。

冷熱住機では、節電・省エネ対応のリプレース需要は堅調に推移したものの、首都圏を中心とした大手設備業者向け案件が低迷し、減収となりました。

ビルシステム・情報通信では、再生可能エネルギー関連商材の販売は堅調に推移し、メディカル、セキュリティ関連の伸びもありましたが、基幹商品であるエレベーター・IT関連が低調で、大幅な減収となりました。

#### ②エレクトロニクス

【当第2四半期連結売上高773億67百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益15億51百万円(前年同期比3.3%増)】

国内では、自動車関連での欧米など海外向け需要・販売が堅調であり、また産業機器関連もFA関連ビジネスや省エネ関連ビジネスが堅調に推移し、増収となりました。

海外子会社では、アジア地域でのOA機器関連向け電子部品の販売が一部伸び悩みましたが、自動車関連向け電子部品がアジア・欧米地域で好調に推移し、増収となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、短期貸付金が74億97百万円減少しましたが、商品及び製品が33億40百万円、現金及び預金が12億85百万円、受取手形及び売掛金が11億21百万円増加したこと等により、資産合計は前連結会計年度末比44百万円増加し、1,179億80百万円となりました。

負債の部は、退職給付に係る負債が2億25百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が15億8百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末比10億99百万円減少し、592億53百万円となりました。

純資産の部は、四半期包括利益18億49百万円、配当金5億20百万円の計上等により、純資産合計は前連結会計年度末比11億43百万円増加し、587億26百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末比1.0ポイント増加し、49.8%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比57億12百万円減少し、158億44百万円の残高となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動に使用した資金は、45億40百万円（前年同期比50億79百万円支出増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益25億80百万円の計上と、増収に伴う売上債権・たな卸資産の増加と仕入債務の減少による資金の減少58億19百万円、法人税等の支払12億5百万円によるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は、6億5百万円（前年同期比1億30百万円支出減）となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得支出5億85百万円と、投資有価証券の売買によるネット支出1億41百万円によるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は、4億49百万円（前年同期比1億66百万円支出減）となりました。これは主に、配当金の支払5億21百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年5月15日に公表いたしました数値から変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## ・退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が124百万円減少、退職給付に係る負債が200百万円増加し、利益剰余金が208百万円減少しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,058	15,344
受取手形及び売掛金	58,654	59,776
有価証券	200	652
商品及び製品	18,010	21,351
短期貸付金	7,497	—
その他	4,230	4,877
貸倒引当金	△93	△86
流動資産合計	102,557	101,914
固定資産		
有形固定資産	4,628	4,841
無形固定資産	578	610
投資その他の資産		
その他	10,218	10,654
貸倒引当金	△46	△41
投資その他の資産合計	10,171	10,613
固定資産合計	15,378	16,065
資産合計	117,936	117,980
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,801	38,292
電子記録債務	9,019	9,095
短期借入金	2,586	2,526
未払法人税等	1,220	914
その他	3,093	3,651
流動負債合計	55,721	54,479
固定負債		
退職給付に係る負債	3,363	3,588
その他	1,268	1,185
固定負債合計	4,632	4,774
負債合計	60,353	59,253
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,334	10,334
資本剰余金	7,375	7,380
利益剰余金	39,943	40,885
自己株式	△852	△853
株主資本合計	56,800	57,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	985	1,400
為替換算調整勘定	512	204
退職給付に係る調整累計額	△715	△644
その他の包括利益累計額合計	782	960
新株予約権	—	18
純資産合計	57,582	58,726
負債純資産合計	117,936	117,980

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	105,431	111,859
売上原価	94,764	100,322
売上総利益	10,667	11,537
販売費及び一般管理費	8,434	9,136
営業利益	2,232	2,401
営業外収益		
受取利息	17	31
受取配当金	70	63
持分法による投資利益	47	27
為替差益	180	107
その他	42	62
営業外収益合計	358	291
営業外費用		
支払利息	26	27
売上割引	31	39
売上債権売却損	22	37
その他	3	8
営業外費用合計	84	112
経常利益	2,506	2,580
税金等調整前四半期純利益	2,506	2,580
法人税等	938	909
少数株主損益調整前四半期純利益	1,568	1,671
四半期純利益	1,568	1,671



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,568	1,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	303	415
為替換算調整勘定	687	△308
退職給付に係る調整額	—	71
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△0
その他の包括利益合計	992	178
四半期包括利益	2,560	1,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,560	1,849
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,506	2,580
減価償却費	202	244
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	△11
受取利息及び受取配当金	△87	△94
支払利息	26	27
持分法による投資損益(△は益)	△47	△27
売上債権の増減額(△は増加)	1,264	△1,231
たな卸資産の増減額(△は増加)	△772	△3,579
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,392	△1,008
その他	△296	△340
小計	1,408	△3,441
利息及び配当金の受取額	98	133
利息の支払額	△26	△27
法人税等の支払額	△941	△1,205
営業活動によるキャッシュ・フロー	538	△4,540
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	—	△1,000
有価証券の償還による収入	—	1,100
有形固定資産の取得による支出	△122	△425
有形固定資産の売却による収入	0	3
無形固定資産の取得による支出	△151	△159
投資有価証券の取得による支出	△631	△391
投資有価証券の売却による収入	146	249
その他	22	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△736	△605
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△175	67
自己株式の純増減額(△は増加)	△5	4
配当金の支払額	△435	△521
財務活動によるキャッシュ・フロー	△616	△449
現金及び現金同等物に係る換算差額	287	△116
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△526	△5,712
現金及び現金同等物の期首残高	22,881	21,556
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	314	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,669	15,844

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	F A・環境 システム	エレクトロ ニクス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	31,552	73,878	105,431	0	105,431	-	105,431
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	-	2	81	83	△83	-
計	31,555	73,878	105,433	81	105,515	△83	105,431
セグメント利益 (営業利益)	715	1,501	2,216	29	2,246	△13	2,232

(注) 1. 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業等を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額△13百万円は、セグメント間取引消去であります。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	F A・環境 システム	エレクトロ ニクス (注)3	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,491	77,367	111,859	0	111,859	-	111,859
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	0	1	72	74	△74	-
計	34,493	77,367	111,861	72	111,933	△74	111,859
セグメント利益 (営業利益)	848	1,551	2,400	16	2,416	△15	2,401

(注) 1. 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業等を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額△15百万円は、セグメント間取引消去であります。  
3. 第1四半期連結会計期間より、従来、「半導体・デバイス」としていた報告セグメントは、「エレクトロニクス」に名称を変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第2四半期連結累計期間につきましても、当第2四半期連結累計期間と同様に「エレクトロニクス」と記載しております。

4. 補足情報

ご参考までに、前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間の地域別売上高は以下の通りであります。

前第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

【地域別売上高】 (単位：百万円)

日本	海外						連結合計
	アジア		北米	欧州	その他	海外計	
	中国	その他					
(72.7%) 76,651	(14.1%) 14,827	(8.2%) 8,658	(1.2%) 1,247	(3.8%) 4,042	(0.0%) 4	(27.3%) 28,779	(100.0%) 105,431

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。  
 2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

【地域別売上高】 (単位：百万円)

日本	海外						連結合計
	アジア		北米	欧州	その他	海外計	
	中国	その他					
(74.3%) 83,108	(12.0%) 13,455	(8.5%) 9,473	(1.7%) 1,887	(3.5%) 3,933	(0.0%) 0	(25.7%) 28,750	(100.0%) 111,859

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。  
 2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比であります。